



YOROSU

株式会社 ヨロズエンジニアリング

会社案内



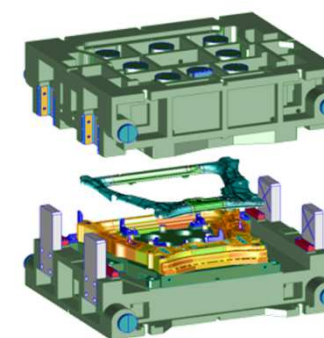
2025年度

(株)ヨロズエンジニアリング

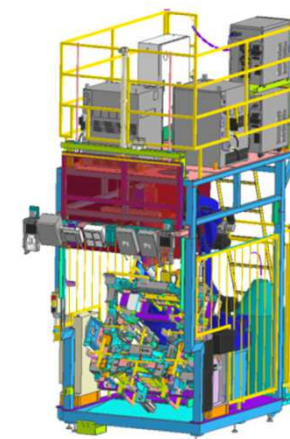


1. 会社概要

■ 会社名	株式会社ヨロズエンジニアリング (YOROZU ENGINEERING CORPORATION)
■ 住所	〒997-1311 山形県東田川郡三川町青山字外川原207-1
■ 資本金	1 億円
■ 代表者	代表取締役会長 柳澤 猛 代表取締役社長 本間 伸一
■ 事業内容	プレス金型および生産設備の開発・設計・製造
■ 創立日	1992年（平成4年）10月22日
■ 株主構成	(株)ヨロズ 100%
■ 主要得意先	(株)ヨロズ 日産自動車(株)様 (株)エイチワン様 トヨタ自動車東日本(株)様 豊田鉄工(株)様
■ 従業員数	1 8 0 名（2025年4月現在）
■ 敷地面積	33,218平方メートル
■ 建屋面積	16,680平方メートル



金型の設計・製造



組立設備の設計・製造

【認証取得】



IATF16949



ISO14001

2. 沿革

1992年 (H4年)	(株)ヨロズ エンジニアリング (YE) を設立 組立治工具・生産設備の設計製作を開始
1998年 (H10年)	(株)ヨロズ工機部門と(株)庄内ヨロズ技術センター部門を(株)ヨロズ エンジニアリング に集結し プレス金型の設計製作を開始、金型と設備の一貫生産を開始 トライアルプレス(200トン・500トン・700トン)、大型5面加工機(2台)ほか各種工作機械を導入
2002年 (H14年)	ヨロズエンジニアリングシステムズタイランド (YEST) を設立 (11/22)
2016年 (H28年)	第3期 工場拡張工事 開始
2017年 (H29年)	工場拡張工事 完成 大型サーボプレス(1200トン、1300トン)、大型5面加工機(5台)、マシニングセンター(6台) 等のを 新規加工機導入し能力を増強
2025年 (R7年)	現在に至る

3. 組織・人員構成



従業員数：180名
(2025年4月時点)

4. 保有主要設備

■ 機械加工設備	
・ マシニングセンター（機械加工機）	23台
門形高速5面加工機（APC付）	（8台）
門形マシニングセンター	（4台）
縦形高速マシニングセンター（APC付）	（5台）
縦形マシニングセンター	（1台）
横形マシニングセンター（APC付）	（5台）
・ 2次元/ 3次元レーザー加工機	3台
・ 放電加工機、ワイヤーカット放電加工機	6台
・ 平面研削盤	2台
・ NC旋盤	1台
・ 3Dプリンター	2台

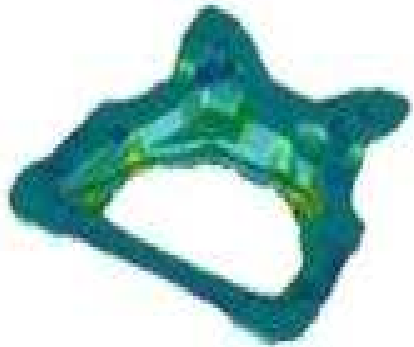
■ プレス加工設備	
・ 1200 ^{トン} サーボプレス（コイル材供給装置付）	1台
・ 1300 ^{トン} サーボプレス	1台
・ 700 ^{トン} 機械式プレス	1台
・ 500 ^{トン} 機械式プレス	3台
・ 200 ^{トン} 機械式プレス	1台
・ 30 ^{トン} 油圧式プレス（ダイスポッティングプレス）	1台

■ 設計設備	
・ 金型 CAD/CAM/CAEシステム	49台
CADシステム（CADmeister）	（28台）
CAMシステム（CADmeister、WorkNC、Mastercam）	（17台）
CAEシステム	（4台）
プレス成型性シミュレーション（Auto Form、PamStamp）	
強度解析（ANSYS）	
トランスファーシミュレーション（CADmeister）	
・ 設備 CAD/CAEシステム	15台
CADシステム（iCAD/SX）	（14台）
CAEシステム	（1台）
ロボットシミュレーション（MotoSim EG）	
強度解析（KSWAD）	

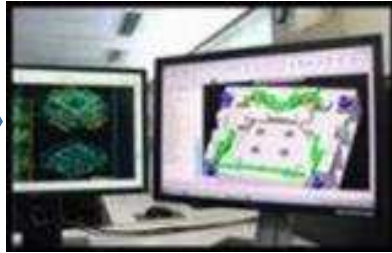
■ 品質保証設備	
・ CNC 3次元測定機（ミットヨ APEX）	2台
・ 多関節型非接触3次元測定機（FARO EDGE）	1台
・ ATOS 5	1台

5. 金型製作工程 データ駆動製作による短期間製作

成形性シミュレーション



金型設計



NCデータ作成



機械加工

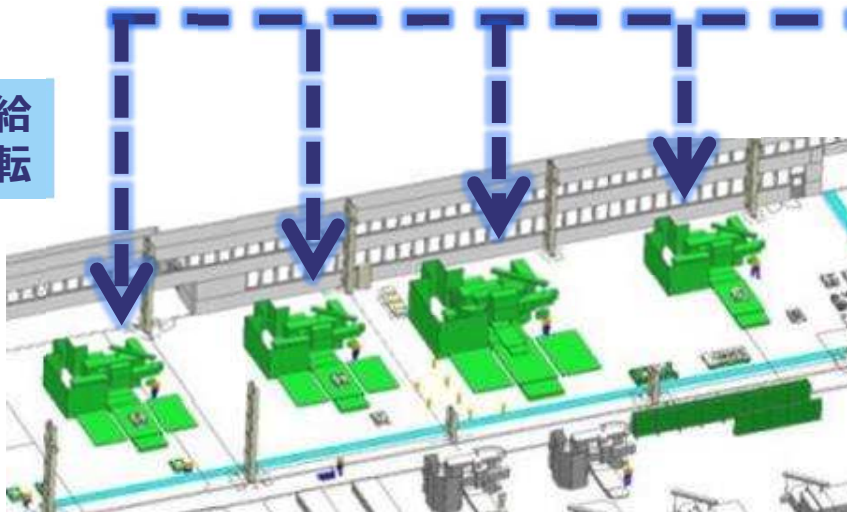


金型組付・仕上



NCデータ

NCデータのオンライン供給
による機械加工の自動運転



DNCサーバ

工具管理システム
による工具準備



工具情報データ

6. 所有大型加工機の特徴

■ 門型高速5面加工機（8台）

・機種（テーブルサイズ:mm）	台数	パレチエン
①MCR-BⅢ30E（2500×4700）	1	○
②MCR-BⅢ25E（2500×3700）	2	○
③MCR-A5CⅡ25（2000×3700）	2	○
④MCR-A5C-APC2（1500×2800）	1	○
⑤MCR-BⅡ-APC2（1500×2800）	2	○

下型



上型



多型セット

最大3000×5000の金型加工可能



自動パレットチェンジ

多型セットと
自働パレットチェンジにより
連続無人加工が可能

7. サーボプレスによる金型トライ

- ・サーボプレス機使用により、プレス動作を制御した加工条件でTRYが可能
- ・1200Tプレスはコイル材供給装置、自動金型ダイセット装置も備えており量産加工と同条件でTRY可能

■ 大型プレス加工設備

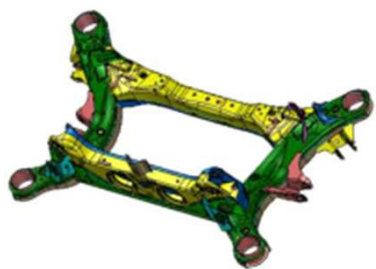
	メーカー	台数	ボルスタ-サイズ(mm)
・ 1200トンサーボプレス (コイル材供給装置付)	AIDA (ORII)	1台	2200×3500
・ 1300トンサーボプレス	AIDA	1台	2200×3600

サーボプレスによる大物部品の試作対応



8. 溶接設備製作工程

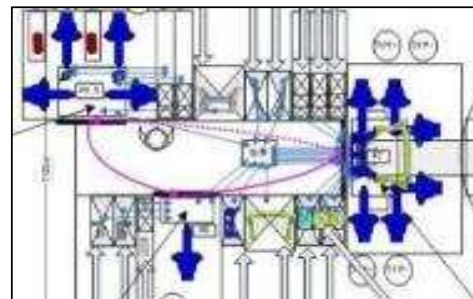
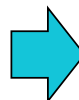
設計～設備製作・ロボットティーチング・電気工事～生産トライ・完了まで
自社内一貫製作による短納期かつ高品質な設備を提供致します



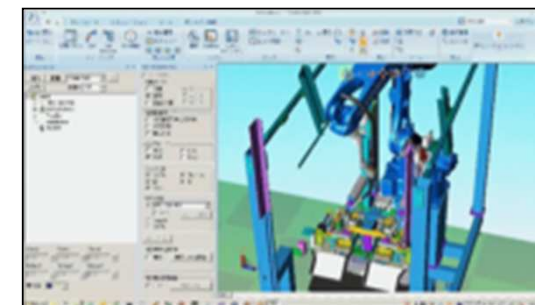
3D部品データ
工程計画・仕様受領



機器設計



ラインレイアウト設計



オフラインティーチング



治具組立



配管施工・電気配線

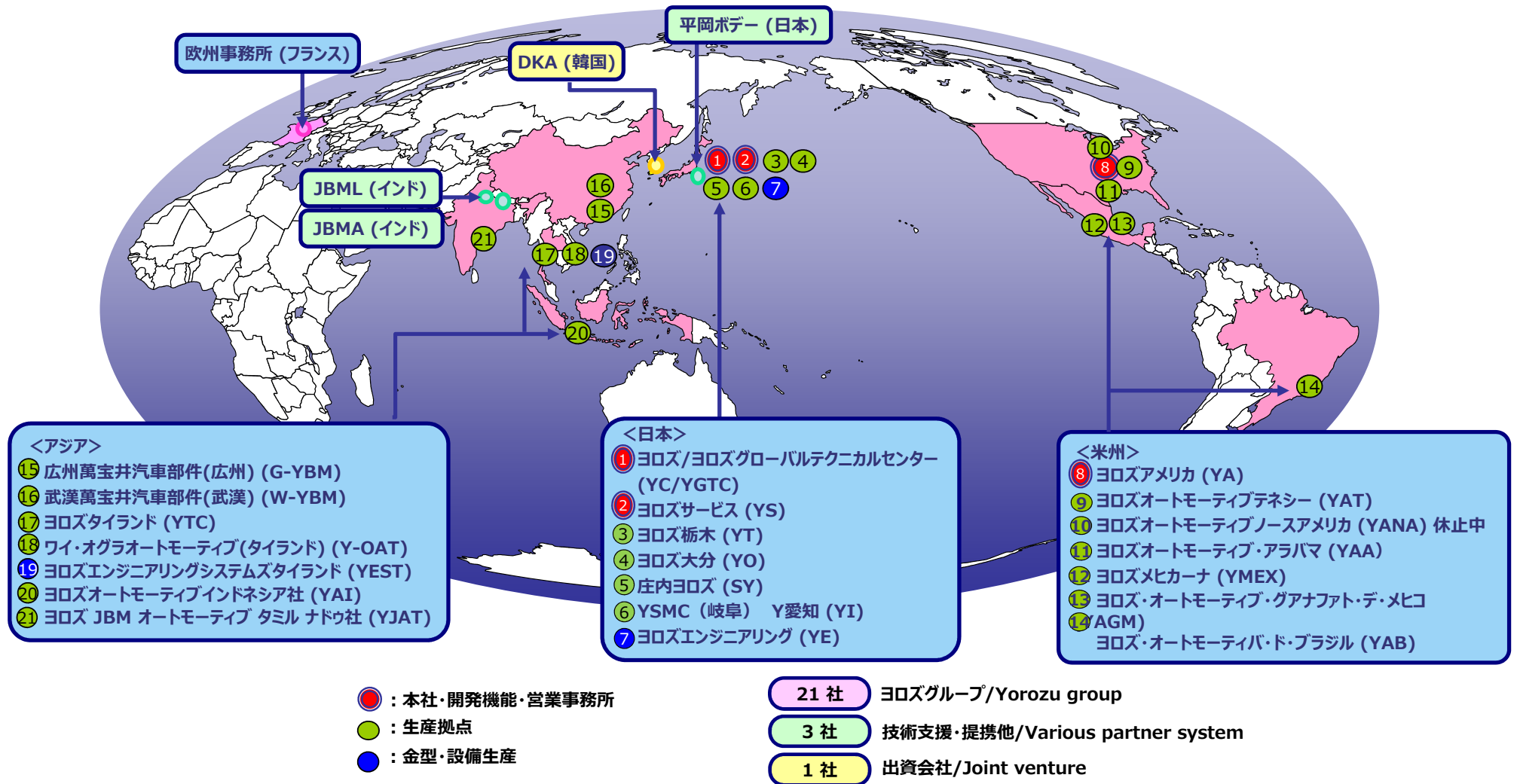


溶接ロボット動作確認

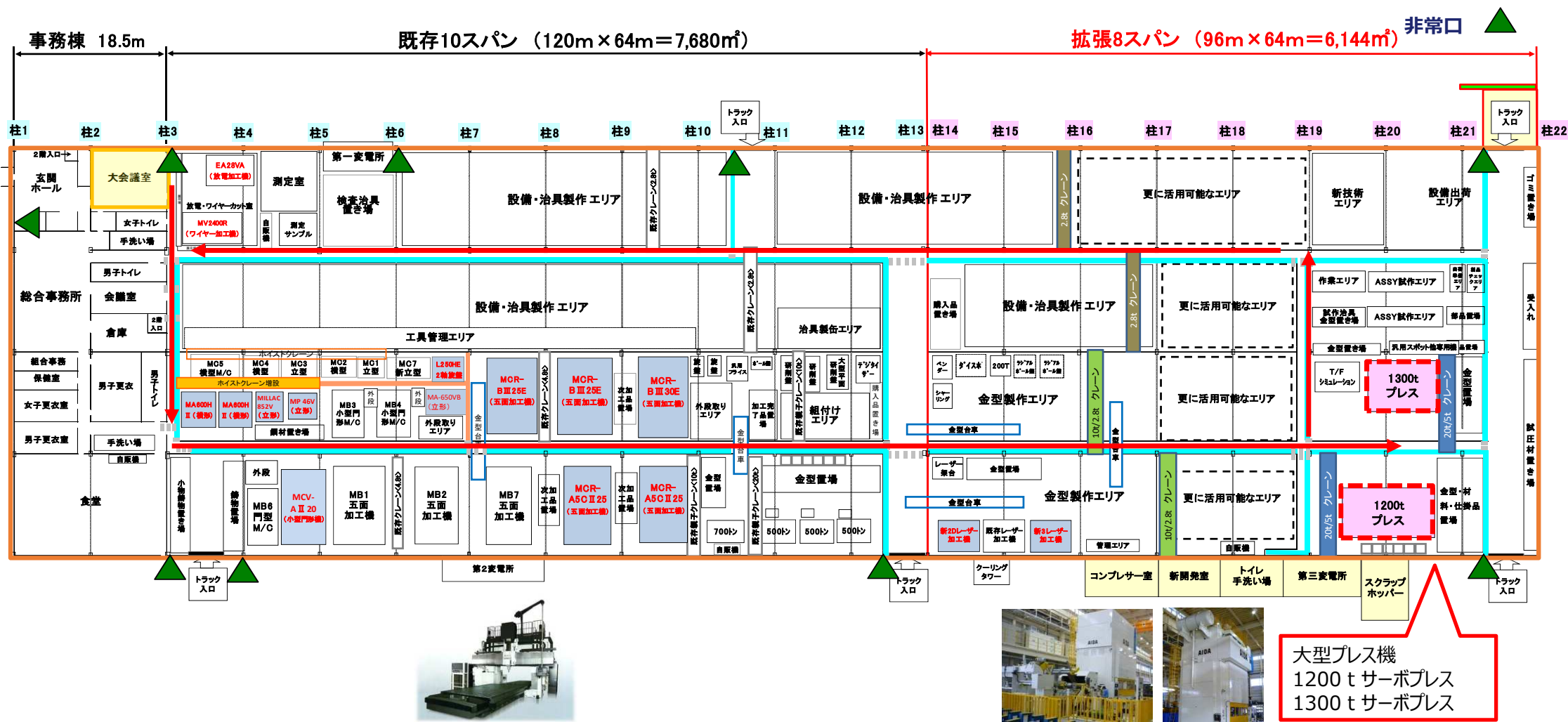


生産設備ライン

10. ヨロズグローバルネットワーク



1 1. 工場レイアウト



YOROZU

Copyright © YOROZU Corporation